



フェアな価格 確かな信頼

SAMPLE

# ジャパン石油製品

## Japan Products

お申し込み >

試読 >

☆RIM JAPAN PRODUCTS INTELLIGENCE DAILY

★No. 8456 Aug 31 2021

Copyright(C) 2021 RIM Intelligence Co. All rights reserved  
東京時間2021年8月31日火曜日17時<Assessment Closing Time>

「リム価格」は登録商標です 登録番号・第5387777号  
「4リム価格」は登録商標です 登録番号・第5660925号  
「リムラック価格」は登録商標です 登録番号・第5660926号

### ◎お知らせ

#### ○「第5回立ち寄りセミナー ～初秋編～」のお知らせ

リム情報開発は、脱炭素化が進むエネルギー産業の未来に関する考察を深めていただくための一助となるよう、以下の要項でオンラインセミナーを開催いたしますのでお気軽にお立ち寄りください。この立ち寄りセミナーは、エネルギーの動向をタイムリーに紐解く季刊誌「エネルギー通信」の発刊に合わせて開催しております。

◆テーマ：進む脱炭素・新たな可能性を探る

第1部：脱炭素に向けた企業の動きが加速

第2部：変わりゆく森と動物から～バイオ発電・燃料の躍進～

◆日時： 9月9日（木）14：00～15：30

◆開催形式：Microsoft Teamsライブイベント。9月8日（水）13:00～15:00の間に接続テストの時間を設けます。9月8日12:00までにメールにてご案内します。Windows7もしくはそれより古い場合はご参加いただけません。

◆参加費：1名様につき3,300円、資料費込みの場合5,000円（ともに税込み）

※請求書に掲載の所定口座へ9月7日（火）までにお振込みください。資料をお申込みの方には、お支払い確認後、事前にメールにてお送りいたします。参加者には、リムが発行する季刊誌「エネルギー通信」（定価5,500円、税込み）の8月20日号を無料で進呈します。

◆お申し込み：締め切りは9月6日（月）。下記のリンクよりお申し込みください。

URL：<https://www.rim-intelligence.co.jp/info/cat03/2021/1692780.html>

[問合せ]研修・セミナー開発チーム 電話 03-3552-2411 E-Mail [info@rim-intelligence.co.jp](mailto:info@rim-intelligence.co.jp)

### ◎リムエネルギー総合指数22種(レックス22、2010年平均=100)

31日のレックス22は、前日から0.06ポイント上昇し125.89です

#### -----リムレポートのご紹介-----

リム情報開発のレポートラインアップは、下記のURLからアクセスください。各レポートのサンプルに加え、内容についての詳細な説明がご覧いただけます。

<https://www.rim-intelligence.co.jp/report/>

原油・コンデンセート	アジア石油製品	バンカーオイル
ローリーラック(国内陸上)	ジャパン石油製品(国内海上)	LPG LNG
石油化学	ポリオレフィン	電力
バイオマス(週刊)	デイリーデータ	Rim Data File
クリーンエネルギー(週刊)	CROSS VIEW軽油/重油	エネルギー通信

上記に関するお問い合わせは、TEL 03-3552-2411 E-mail [info@rim-intelligence.co.jp](mailto:info@rim-intelligence.co.jp)

東京時間2021年8月31日火曜日17時&lt;Assessment Closing Time&gt;

◎国内石油製品海上バージスポット価格 (製油所・油槽所バージ取り・円/kl)					
東京湾(京浜/千葉)	固定値	中値	前日比	市況連動	
ガソリン	+ 65,600~ 66,100 +	65,850	+450	-500/+500	
灯油	+ 62,800~ 63,700 +	63,250	+150	-500/+500	
軽油0.001%S	+ 65,300~ 66,200 +	65,750	+250	-500/+500	
A重油0.5%S	+ 65,000~ 65,500 +	65,250	+1,550	-500/+500	
A重油0.1%S	+ 65,500~ 66,000 +	65,750	+1,550	-500/+500	
C重油0.3%S	61,800~ 62,500	62,150	+0	-500/+500	
C重油3.0%S	54,700~ 55,500	55,100	+0	-500/+500	
船舶用0.5%S重油	64,600~ 65,000	64,800	+0		
船舶用3.0%S重油	54,700~ 55,500	55,100	+0		
西日本(阪神/大西)	固定値	中値	前日比	市況連動	
ガソリン	+ 65,600~ 66,100 +	65,850	+450	-500/+500	
灯油	+ 62,800~ 63,700 +	63,250	+150	-500/+500	
軽油0.001%S	+ 65,300~ 66,200 +	65,750	+250	-500/+500	
A重油0.5%S	+ 65,000~ 65,500 +	65,250	+1,550	-500/+500	
A重油0.1%S	+ 65,500~ 66,000 +	65,750	+1,550	-500/+500	
C重油0.3%S	61,800~ 62,500	62,150	+0	-500/+500	
C重油3.0%S	54,700~ 55,500	55,100	+0	-500/+500	
船舶用0.5%S重油	64,600~ 65,000	64,800	+0		
船舶用3.0%S重油	54,700~ 55,500	55,100	+0		
市況連動はリム月間平均値に対するプレミアム/ディスカウント 前日比は固定値中値ベース					
アセスメント対象となる受渡月が翌月に移行する当月26日(休日の場合には、直後の営業日)の「前日比」については「-」とする。					

◎国内石油製品ペーパースワップ価格 (国内製油所バージ取り・円/kl)			
	9月	10月	11月
ガソリン	+ 65,600~ 66,100 +	+ 65,700~ 66,700 +	+ 65,300~ 66,300 +
灯油	+ 62,800~ 63,700 +	63,200~ 64,200	62,600~ 63,600
軽油0.001%S	+ 65,300~ 66,200 +	+ 67,300~ 68,300 +	+ 66,700~ 67,700 +
A重油0.5%S	+ 65,000~ 65,500 +	+ 64,700~ 65,200 +	+ 64,200~ 64,700 +
A重油0.1%S	+ 65,500~ 66,000 +	+ 65,200~ 65,700 +	+ 64,700~ 65,200 +
C重油0.3%S	61,800~ 62,500	+ 61,500~ 62,200 +	+ 61,000~ 61,700 +
C重油3.0%S	54,700~ 55,500	+ 54,400~ 55,200 +	+ 53,900~ 54,700 +

◎東京商品取引所石油先物・日中取引 (東京湾製油所・油槽所バージ取り・円/kl)						
	始値	高値	安値	帳入値	前日比	出来高
<b>ガソリン</b>						
10月限	64,700	64,700	64,700	64,700	+290	3
11月限	64,470	64,470	64,250	64,250	+1,030	5
12月限	64,240	64,380	64,060	64,130	+1,070	8
1月限	63,720	64,290	63,720	64,090	+630	6
2月限	63,860	64,640	63,860	64,640	+670	16
3月限	63,710	64,280	63,710	64,280	+660	36
合計						74
<b>灯油</b>						
10月限	-	-	-	62,210	0	-
11月限	-	-	-	61,620	0	-
12月限	-	-	-	63,280	0	-
1月限	-	-	-	63,570	0	-
2月限	64,040	64,040	63,740	63,910	+250	4
3月限	-	-	-	63,520	0	-
合計						4



軽油						
10月限	-	-	-	66,300	+100	-
11月限	-	-	-	65,700	+100	-
12月限	-	-	-	65,200	+100	-
1月限	-	-	-	64,700	+100	-
2月限	-	-	-	64,100	+100	-
3月限	-	-	-	63,700	+100	-
合計						-
原油						
8月限	48,000	48,000	47,950	48,000	+110	7
9月限	48,420	48,420	48,320	48,400	+170	26
10月限	48,110	48,150	48,000	48,120	+320	35
11月限	47,550	47,620	47,270	47,620	+390	163
12月限	47,070	47,100	46,720	47,100	+370	673
1月限	46,650	46,660	46,300	46,660	+360	2,520
合計						3,424
取組高(08/30)(売):	ガソリン 911	灯油 624	軽油 0	原油 94,447		
取組高(08/30)(買):	ガソリン 911	灯油 624	軽油 0	原油 94,447		
1枚=50kl						

◎東京湾製油所出し陸上スポット価格 (千葉・川崎平均値 円/kl)					
ガソリン	64,250	-400	灯油	64,750	-100
未課税軽油0.001%S	65,100	-50	A重油0.5%S	63,350	+100
A重油0.1%S	63,850	+100			

◎原油輸入平均CIF価格 (JCC 円/kl・財務省発表)					
21/06/01-30r	47,604	21/07/01-31r	49,874	21/08/01-31	9月16日発表予定
21/06/01-10	46,498	21/07/01-10	47,227	21/08/01-10	50,397
21/06/11-20	47,955	21/07/11-20	50,998	21/08/11-20	9月7日発表予定
21/06/21-30	48,306	21/07/21-31	50,822	21/08/21-31	9月16日発表予定
r=修正値					

◎原油輸入平均CIF価格予想値 (JCC 円/kl、RIM試算値)					
21/8月		21/9月		21/10月	
50,060	±0	50,410	+50	51,580	+170

◎MR船型の日本着輸入価格 (ナフサ・重油 ドル/トン その他 ドル/バレル)			
	スポット価格	プレミアム	円/kl
ナフサ	+ 658.25~ 659.25 + **	-1.75/ -1.25	51,139
ジェット/灯油	- 77.85~ 77.95 -	1.75/ 1.85	57,486
軽油 0.001%S	79.05~ 79.15	0.75/ 0.85	58,727
重油 0.3%S	+ 555.00~ 565.00 +	120.00/130.00	63,600*
重油 380cst 3.5%S	+ 426.00~ 427.00 +	6.50/ 7.50	49,165
円ドル換算レート (TTS 円/ドル 8月31日現在) 110.90 *密度0.95			
**ナフサのスポット価格、プレミアムは参考値			

◎MR船型の日本積み輸出価格 (重油 ドル/トン その他 ドル/バレル)			
	スポット価格	プレミアム	円/kl
ジェット/灯油	- 76.15~ 76.25 -	0.05/ 0.15	55,475
米西海岸向け軽油	77.60~ 77.70	-0.70/-0.60	56,477
軽油 0.001%S	77.35~ 77.45	-0.95/-0.85	56,304
重油 380cst 3.5%S	+ 413.50~ 414.50 +	-6.00/-5.00	47,161
円ドル換算レート (TTM 円/ドル 8月31日現在) 109.90 *還付金の2,800円を含む			



## ◎MR船型のシンガポール積み輸出価格 (重油 ドル/トン その他 ドル/バレル)

	スポット価格	プレミアム
ナフサ	+ 71.60~ 71.70 +	0.40/ 0.50
ジェット/灯油	75.85~ 75.95	-0.25/-0.15
軽油 0.001%S	78.35~ 78.45	0.05/ 0.15
軽油 0.05%S	74.60~ 74.70	-3.70/-3.60
重油 0.5%S	+ 518.50~ 528.50 +	-1.00/ 9.00
重油 180cst 3.5%S	+ 459.00~ 460.00 +	24.00/25.00

## ◎MR船型のインドネシア積みLSWR価格

	スポット価格	プレミアム
0.45%LSWR(\$/mt)	+ 482.00~ 484.00 +	47.00/49.00*
0.45%LSWR(\$/bbl)	+ 73.05~ 73.35 +	

\*シンガポールペーパー swaps 180cst 3.5%S重油に対するプレミアム

## ◎シンガポール・ペーパー swaps (重油 ドル/トン・その他 ドル/バレル)

	9月	10月	11月
ナフサ	+ 71.15~ 71.25 +	+ 70.65~ 70.75 +	+ 70.10~ 70.20 +
ジェット/灯油	76.05~ 76.15	- 75.95~ 76.05 -	- 75.85~ 75.95 -
ジェット/軽油格差	-2.25/ -2.15	-2.05/ -1.95	-1.80/ -1.70
0.001%S軽油	78.25~ 78.35	- 77.95~ 78.05 -	- 77.60~ 77.70 -
重油 0.5%S	+ 519.25~ 519.75 +	- 514.75~ 515.25 -	- 511.75~ 512.25 -
180cst 3.5%S重油	+ 434.75~ 435.25 +	- 420.50~ 421.00 -	- 410.50~ 411.00 -
380cst 3.5%S重油	+ 419.25~ 419.75 +	- 406.50~ 407.00 -	- 397.75~ 398.25 -

## ◎シンガポール精製マージン (対ドバイ原油・ドル/バレル)

	9月	10月	11月
ナフサ	1.73	1.85	2.01
ジェット/灯油	6.63	7.15	7.76
0.001%S軽油	8.83	9.15	9.51
重油 0.5%S	10.45	10.38	10.63
180cst 3.5%S重油	-2.55	-4.12	-4.95
380cst 3.5%S重油	-4.93	-6.27	-6.91

## ◎アジア・バンカー価格 (ドル/mt・届けベース)

	380cst		VLSFO		LSMGO (日本のみLSMDO)	
東京湾	455.00-458.00	+2.00	543.00-546.00	+3.00	724.00-734.00	+14.00
西日本	461.00-464.00	+2.00	549.00-552.00	+3.00	734.00-744.00	+14.00
伊勢湾	460.00-463.00	+2.00	548.00-551.00	+3.00	724.00-734.00	+14.00
韓国	442.00-445.00	0.00	547.00-550.00	0.00	580.00-590.00	0.00
シンガポール	437.00-440.00	+3.00	533.00-536.00	+1.00	566.00-576.00	+3.00

## ◎韓国出シSR船型輸入採算価格(A重油を除き関税・石油石炭税込み 円/kl)

荷揚げ地	ガソリン		灯油		軽油		LSA重油	
北海道	63,375	-54	59,962	+82	61,796	+84	55,561	+80
京浜	62,887	-54	59,474	+81	61,308	+83	55,072	+79
中京	62,678	-54	59,265	+81	61,099	+83	54,863	+79
関門	62,399	-55	58,986	+81	60,820	+83	54,584	+79

**○21年8月の海上スポット市況月間平均確定値、単位：円/kl**

	京浜	前月比	西日本	前月比	東西平均	前月比
ガソリン	66,893	-1,942	66,893	-2,075	66,893	-2,008
灯油	63,236	-2,592	63,345	-1,903	63,290	-2,248
軽油	67,971	-2,352	67,829	-2,729	67,900	-2,540
A重油 0.5%S	65,926	-2,334	65,869	-2,329	65,898	-2,331
A重油 0.1%S	66,369	-2,329	66,369	-2,329	66,369	-2,329
C重油 0.3%S	62,029	29	62,029	29	62,029	29
C重油 3.0%S	54,614	-1,011	54,614	-1,011	54,614	-1,011
0.5%S重油*	64,962	-38	64,962	-38	64,962	-38
3.0%S重油*	54,614	-1,011	54,614	-1,011	54,614	-1,011

単位：円/kl

\*：船舶用

**◎マーケットコメント**
**○元売り市中調達**
**トッパー停止数・1基 停止率2.0%**

31日の大口取引は浮上せず。元売りや各商社も様子見し、次のきっかけ待ち。

**○ガソリン京浜・前日比450円高の65,600～66,100円 西日本・前日比450円高の65,600～66,100円**

**【概況】**東西ともに底上げ。先物や陸上市況の先高観測を織り込んだ。一方、元売り各社や商社間のやり取りは浮上せず。陸上市場では上期末を迎え、長雨で空振りに終わった夏相場のリカバリーを想定する声もちらほら。

**【成約一覧】**JOF、OTC市場で成約は浮上せず。

**【JOF市場】**午後2時30分時点の最安値、最高値の売買唱えは以下のとおり。単位：円/kl

	京浜		阪神		大西	
	ビッド	オファー	ビッド	オファー	ビッド	オファー
固定値	65,600		65,600			
数量	200		200			
市況連動						
数量						

**【東西】**JOF市場の京浜と阪神では65,600円のビッドがセッションタイム中に提示され、前日から強含んだ。先物高や陸上市況の底上げ観測もあり、先行して値上げに動いたようだ。

もっとも、カウンターオファーはなく、時間外でも目立った動きはなかった。

OTC市場も積極的なやり取りは浮上せず。複数の市場関係者から元売り各社の動向を探っている

が、定修トッパーは限られ、足元では大きな装置トラブルもない。「製品のタイト感はない」（燃料商社）。水面下で元売りのマーケットチェックは見え隠れするものの、具体的な動意はないという。この日の売買アイデアとして、JOF市場のビッドに対し、500円レンジに相当する東西65,600～66,100円が市場関係者から伝えられた。

一方、9月は上期末に相当するため、各商社や広

域系はある程度売りに動くとの声も寄せられた。とくに8月の長雨で小売販売が鈍化したため、各社ともに大なり小なり焦りはあるという。海上枠で買い気があれば柔軟に対応したい売り手は多いようだ。都市部二次基地では64,000円台で手当て可能な地合いを形成している。

製油所関連では、9月中旬に和歌山製油所が定修に入るようだ。工事期間は11月下旬と伝えられて

いる。

市況連動は東西ともに月間平均に対してレス500円～プラス500円と、前日から変わりはない。

【東商取】バージ10月限は前日比290円高の64,700円で日中取引を終えた。出来高は150kl。京浜現物中値と当限の価格差は1,150円の現物高・先物安。

○灯油 京浜・前日比150円高の62,800～63,700円 西日本・前日比150円高の62,800～63,700円

【概況】スポット市況は続伸している。明日以降の元売り仕切り価格引き上げを材料視し、買い手の中に唱えを引き上げる動きが続いている。

市況連動商談は京浜、西日本ともに月間平均レス500～プラス500円で変わらず。

#### 【成約一覧】

場所	対象	数量(kl)	成約値(円)	条件	固定値換算(円)
阪神	OTC	200	61,500		

【JOF市場】午後2時30分時点の最高値、最安値の唱えは以下のとおり。単位:円/kl

	京浜		阪神		大西	
	ビッド	オファー	ビッド	オファー	ビッド	オファー
固定値	65,500		65,500			
数量	200		200			
市況連動						
数量						

【東西】JOF市場で提示されているビッドの水準は日に日に上昇している。明日9月1日には民族系の大手元売り2社が仕切り価格を通知するが、これが足元から2,000～2,500円程度の引き上げとなる可能性が高まっている。これを買値に織り込んで唱えを先んじて引き上げる動きが出ている状況だ。この日、京浜と阪神の製油所玉を対象に提示されたのは65,500円で、前日から300円上昇した。数量は200klとなっている。これらのビッドに対して売り応じる業者はおらず、セッションは終了した。

一方、OTC市場で浮上したオファーでは61,000円が最も安く、これは京浜、西日本で販売がで

きるという。油槽所玉がベースとなっているため、引き続きJOF市場の製油所玉対象のビッドには売り応じられないという。こういったなかで阪神では早々に9月商談の売買が進められた。ディーラー間でルート指定のない阪神玉200klが61,500円で成約されている。この成約については東商取先物市場の当限価格をやや上回る水準のため、油槽所玉を扱う業者からは同程度の売買水準が伝えられた。ただ、製油所玉をベースに売買を進める業者は割安と指摘しており、引き続き扱うルートによって目線は異なる状況だ。

JOF市場、OTC市場の売買唱えは63,250円を境に、引き続き高安が逆転して推移している。

【陸上】陸上スポット商談は9月に移行した。東名阪4製油所出しは64,000円台半ば～65,000円前後が一般的な商談水準となった。本格的な相場底上げは、明日元売りの仕切り改定が通知された後との見方が寄せられる。一方、北海道油槽所出しは依然として4製油所出しの市況を大

きく下回っており、苫小牧などでは63,000円台後半の売り込みも見受けられている。9月についても引き続き売り圧力は強い見通しだ。

【先物】当限となる東商取バージ先物10月限は62,210円。原油は小幅に上昇したが、引き続き商いが薄く値動きがなかった。

○軽油 京浜・前日比250円高の65,300～66,200円 西日本・前日比250円高の65,300～66,200円

【概況】東西ともに続伸。原油市況の続伸で、先高観測がますます強まった。このため、買い手は唱えを先んじて引き上げている。また、この日陸上スポット市場は9月商談に移行。相場がいったん底上げされたことも背景にあるようだ。

市況連動商談は、東西ともに月間平均レス500～プラス500円となっている。

【成約一覧】表面化しなかった。

【JOF市場】午後2時30分時点の最安値、最高値の売買唱えは以下のとおり。単位:円/kl

	京浜		阪神		大西	
	ビッド	オファー	ビッド	オファー	ビッド	オファー
固定値	66,500		66,500			
数量	200		200			
市況連動						
数量						

【東西】JOF市場では、この日も買い気が示されている。東西で66,500円のビッドが提示された。価格は前日から500円切り上がった。いずれも製油所玉200klが対象となっている。ただ、売りに応じる業者は現れず。セッションタイム、時間外取引とも成約は浮上しなかった。

OTC市場のオファー水準は前日から変わっていない。引き続き、東西で65,000円が最も安いオファーとなっている。9月1日の仕切り価格改定日までは価格を据え置く業者が多かった。元売り各社の製油所稼働状況は安定しており、市中調達への期待感は薄れている。こうした需給の緩みもあって、全体的に売り圧力が強いようだ。

【陸上】陸上スポット市場は、この日から9月商談に移行。8月末の売り込みが月替わりでいったん後退し、相場は底上げされた。東名阪の製油所出しでは、64,000円台半ば～65,000円台半ばの唱えが示されている。

大東タンクターミナル出しでは、一部66,000円で買い気を探る業者がみられた。このほかの業者は、67,000円を唱え、様子見に退いている。

【官公需】26日、水産庁は調査船向け軽油150klの入札を実施。届け67,200円で日通商事が落札した。納入日は9月21日。フレートは2,000円付近とみられている。

○A重油0.5%S京浜・前日比1,550円高の65,000～65,500円 西日本・前日比1,550円高の65,000～65,500円

【概況】東西ともに上昇した。先高期待を受け、売買唱えともに切り上がった。市況連動は東西ともに

月間平均レス500円～プラス500円。

【JOF市場】午後2時30分時点の最安値、最高値の売買唱えは以下のとおり。単位:円/kl

	京浜		阪神		大西	
	ビッド	オファー	ビッド	オファー	ビッド	オファー
固定値	65,000		65,000			
数量	100		100			
市況連動						
数量						

【東西】東西ともにJOF市場で65,000円(100kl)のビッド、OTC市場で65,500円のオファーがそれぞれ提示された。ENEOSが2日から仕切り価格を2,500～3,000円程度引き上げるとの観測が広がっている。これが先高期待につながり買い気が強まる一方、売り気が後退した。

【官公需入札】気象庁が25日に開札した観測船「啓風丸」向け90klは届け65,200円で鈴与商事が

落札したと伝えられた。EX換算62,000円台後半に相当するとみられる。足元の蔵取り相場と比べ割安に映った。東京湾で9月1日に納入されるようだ。

また、茨城県立海洋高等学校が31日に開札した実習船向け80klは前日比8,000円高の10,200円で落札された。茨城沿海地区漁業協同組合連合会が落とした。9月2日に鹿島丸大洗港で納入される。

○A重油0.1%\$京浜・前日比1,550円高の65,500～66,000円 西日本・前日比1,550円高の65,500～66,000円

【概況】東西ともに底上げされた。原油市況の続伸などを受けた。市況連動商談は東西ともに月間平均レス500円～プラス500円。

【JOF市場】午後2時30分時点の最安値、最高値の売買唱えは以下のとおり。単位:円/kl

	京浜		阪神		大西	
	ビッド	オファー	ビッド	オファー	ビッド	オファー
固定値	65,500		65,500			
数量	100		100			
市況連動						
数量						

【東西】東西ともにJOF市場で65,500円の買唱え、OTC市場で66,000円の売唱えがそれぞれ寄せられた。原油市況が続伸したことなどから買いが優勢となった。陸上タンク市況が上昇したことなども海上市場の買い気を刺激した。埼玉八潮の三愛東京オイルターミナルの陸上出荷価格は67,000円台前半と、前日から4,000円近く上昇した。陸揚げ見合いの海上玉に値ごろ感が出たもよう。

【官公需入札】海技教育機構が26日に開札した日

本丸向け140klは届け65,920円でカメイが落札したと伝えられた。EX換算64,000円前後に相当する。神戸港で9月3日に納入されるようだ。納入前の船積みのタイミングによっては、元売りの週決め玉でも値取りが可能な水準とみられる。



**OC重油0.3%S 京浜・西日本ともに前日と同じ61,800~62,500円**

【税込み輸入採算価格】日本着MR船型の硫黄分0.3%重油は前日比141円高の63,600円。

**OC重油3.0%S 京浜・西日本ともに前日と同じ54,700~55,500円**

【概況】東西ともに横ばい。市場は様子見ムードが強く、静かだった。JOF、OTC市場ともにビッド、オファーの提示がなかった。

**OO.5%S重油 京浜・西日本ともに前日と同じ64,600~65,000円**

【概況】東西ともに具体的なバ売買唱えの提示がなく、商いは閑散としていた。7~9月の内燃研価格を構成するコストが8月末で固まった。9月の仕入れ価格がおおむね確定したため、卸各社ともビッド、オファーの変動余地が乏しい状況だ。

国内の石油販売が振るわなかった8月は、石油タンカー向けバンカー需要が低調で玉を持って余す業者がみられた。一方、9月は石油販売出荷が見通せないことから足元では様子見に徹するプレーヤーが少なくないようだ。

**O3.0%S重油 京浜・西日本ともに前日と同じ54,700~55,500円**

【概況】東西ともに横ばい。JOF、OTC市場ともにビッド、オファーの提示がなかった。模様眺めムードが強く、売買動意が薄かった。

【ボンドバンカー市況の内貨ネットバック価格】京浜の180cstベースで前日比281円高の50,173円。

【硫黄分3.5%品のカーゴ輸出価格】前日比91円高の47,161円。

**○スワップ取引・東商取概況**

【スワップ取引当限】ガソリンは前日から450円高の65,600~66,100円、灯油は同150円高の62,800~63,700円、軽油は同250円高の65,300~66,200円、A重油0.5%Sは同1,550円高の65,000~65,500円、A重油0.1%Sは同1,550円高の65,500~66,000円、C重油0.3%Sは同横ばいの61,800~62,500円、C重油3.0%Sは同横ばいの54,700~55,500円。

【東商取先物】当限を対象とした取引では、ガソリンが前日比290円高の64,700円、出来高は150kl(3枚)、クラックスプレッドは同120円高の16,300円。灯油は同横ばいの62,210円、出来高はゼロ、クラックスプレッドは同170円安の13,810円。軽油は同100円高の66,300円、クラックスプレッドは同70円安の17,900円。

**◎国内石油製品海上JOF・OTC成約**

油種	場所	対象	数量(kl)	成約値(円)	条件
灯油	阪神	OTC	200	61,500	

**◎マーケットニュース**
**○海上入札＝茨城県高校向けA重油、茨城漁連が落札**

茨城県立海洋高等学校が31日開札した大洗港向け一般A重油80klを対象とする競争入札は、届け102円で落札された。前回比で8円高。落札したのは茨城沿海地区漁業協同組合連合会。参加業者1社のみ、納期は9月2日。

6月2日50kl分の前回入札も同社が届け94円で落札している。

**○ドバイ・ペーパーズワップ動向**

ドバイ（ペーパーズワップ）は31日、25～31日の平均値が49,467円と、24日の水準（18～24日）から2,846円上昇した。コロナウイルスに対する新しいワクチンが米国で承認されるなど、経済活動の回復に対する期待が再度強まったことで、WTI原油、ブレント原油とともにドバイ・スワップが買われた。JCC(Japan Crude Cocktail) 予想値は、8月物が17日比変わらずの50,060円。9月物が同比300円高の50,410円。10月物が同比、1,410円高の51,580円。

**○[石油統計速報21年7月] 製品需給概要＝経産省**

	生産	輸入	販売	輸出	月末在庫
ガソリン	3,597,250	352,973	4,014,660	130,917	1,583,482
(前年比)	101.4	79.1	99.5	191.2	83.2
ナフサ	863,254	2,300,601	3,172,910	-	1,354,624
(前年比)	116.1	97.7	99.0	-	110.1
ジェット燃料油	745,643	6,414	307,892	501,218	707,243
(前年比)	120.0	104.4	101.4	163.5	81.2
灯油	597,357	48,068	396,420	47,686	2,017,523
(前年比)	80.4	53.8	84.1	32.4	100.2
軽油	2,888,557	204,363	2,671,455	440,078	1,489,993
(前年比)	106.6	266.4	101.1	244.6	89.7
A重油	647,255	11,798	653,477	8,104	694,188
(前年比)	86	93	85.9	15	97
BC重油	1,250,424	104,443	683,657	566,454	1,182,951
(前年比)	122.2	126.6	147.2	94.5	95.8
合計	10,589,740	3,028,660	11,900,471	1,694,457	9,030,004
(前年比)	104.4	98.7	100.2	125.0	93.8

(in kl)

下段は前年比%

\*流通段階を除く

**◎お知らせ**
**○『クリーンエネルギーレポート』発刊のお知らせ**

リム情報開発は2021年1月19日、週刊『クリーンエネルギーレポート』の創刊号を発刊しました。

週刊『クリーンエネルギーレポート』では、アンモニアの価格評価に加え、水素、エタノールなど炭素を含まないエネルギーや、排出権取引情報など幅広いトピックスを取り上げます。新型コロナの感染拡大が続く中、脱炭素エネルギーに対する関心が高まっています。『クリーンエネルギーレポート』では、国内外の最新情報を随時掲載していきます。



お申し込みは以下のURLからお願いいたします。下記のURLから12月に発刊しました「プレ創刊号」も試読頂けますので是非お目通しください。

<https://www.rim-intelligence.co.jp/contents/ce1/>

ご購入につきましてご不明な点、ご質問がありましたらお気軽にお問い合わせください。

ご質問は クリーンエネルギーレポートチームまでお願いいたします。

電話：03-3552-2411 E-mail: [info@rim-intelligence.co.jp](mailto:info@rim-intelligence.co.jp)

## ○『バイオマスレポート』発刊のお知らせ

リム情報開発は2020年1月23日、発電用の木質ペレットやPKS(パームヤシ殻)の価格評価を始めました。この価格評価や市場動向などを網羅した週刊『バイオマスレポート』を発刊し、関係者の皆様に役立つ情報をお届けします。世界的に環境問題に対する意識が高まる中、木質バイオマスを燃料とした発電所の建設が国内でも相次いでいます。これに伴い、木質バイオマスの価格動向に対する関心がかつてないほど高まっています。『バイオマスレポート』は、国際市場の動向に留まらず、国内未利用木材の動向や各種貿易統計、入札情報などを随時掲載していきます。

『バイオマスレポート』は毎週木曜日に発刊いたします。価格は毎月20,000円です。下記のリンクよりお申し込みください。

<https://www.rim-intelligence.co.jp/contents/info/bio/>

◇弊社ウェブサイトURLは [www.rim-intelligence.co.jp](http://www.rim-intelligence.co.jp)

◇リム価格は登録商標です。登録番号は第5387777号。

◇「トレーディングボード」で配信した情報は、価格評価の対象となります。本紙は「トレーディングボード」で配信する成約/ビッド/オファーの提示を受け付けております。

連絡先は国内石油製品チーム:03-3552-2411 メール:[info@rim-intelligence.co.jp](mailto:info@rim-intelligence.co.jp)

ジャパン石油製品レポートのアセスメントメソドロジー

リンク先: <https://www.rim-intelligence.co.jp/uploaded/assessment/JpnJapnProductsMethodology10022017.pdf>

◇ガソリン、灯油、軽油、A重油の名古屋着輸入試算値は関税・石油石炭税込み

--EDITORIAL AND SUBSCRIPTION INQUIRY: Tokyo--Tel: (81) 3-3552-2411 Fax:(81)3-3552-2415 e-mail: info@rim-intelligence.co.jp Singapore--Tel (65)6345-9894 Beijing--Tel (86)10-8527-1630 Fax (86)10-6428-1725 Shanghai—Tel (86)21-5111-3575 Fax (86)21-5111-3576 India--Tel: (91) 98795-50717

◇

※リムレポートの転送は著作権により堅く禁じられております。購読契約者である組織以外だけでなく、同契約者の組織内の他部署、支社、支店などへの転送も出来ません。本レポートの全部もしくは一部の転載も禁じられています。著作権違反が発覚した場合、違約金が発生することがあります。本レポートに記載された情報の正確性については万全を期しておりますが、購読者が本レポートの情報をを用いて行う一切の行為に関して、リム情報開発株式会社は責任を負いません。また、天災、事変その他非常事態が発生し、または発生するおそれがあり、運営が困難となった場合、レポート発行を一時的に中断することがあります。



**事業所一覧**

[東京本社]

Tel:03-3552-2411, Fax:03-3552-2415

e-mail:[info@rim-intelligence.co.jp](mailto:info@rim-intelligence.co.jp)

[シンガポール支局]

Tel:(65)-6345-9894, Fax (65)-6345-9894,

e-mail:[hagimoto@rim-intelligence.co.jp](mailto:hagimoto@rim-intelligence.co.jp)

[北京支社]

Tel:(86)10-6498-0455, Fax:(86)10-6428-1725

e-mail: [guanhong@rimbj.com](mailto:guanhong@rimbj.com)

[上海支社]

Tel:(86)-21-5111-3575, e-mail:[rim\\_sh@rim-intelligence.co.jp](mailto:rim_sh@rim-intelligence.co.jp)

(C) 2021 RIM INTELLIGENCE CO.

お申し込み >

試読 >